

中央会 おかやま

組合活性化情報

岡山県中央会 web site <http://www.okachu.or.jp>

E-mail chuokai@okachu.or.jp

9

2016
September
Vol.659

今月のFOCUS

合同企業見学会
『バスツアー』開催 4



日本綿布株式会社

日本のデニム産地をリードし、

挑戦し続けます



代表取締役社長
川井 眞治 氏

リーダーズ「アイ」

代表取締役社長

川井眞治氏

日本綿布株式会社

中央会おかやま

2

日本のデニム産地をリードし、挑戦し続けます

業界の現状について教えてください

織物は大きく分けて糸を藍色等に染める染色工程、染めた糸で生地を織る製織工程、織った生地の品質が保たれるように行う整理加工工程の3工程で作られています。私が大学を卒業する頃、岡山にも沢山の織物屋が存在しましたが、その頃ヨーロッパへ行った際に、コスト安の産地が台頭して3工程に分業していた織物屋の大半が廃業に追い込まれていた光景を目の当たりにしました。その地域で残ったわずかな企業は、全て織物を一貫生産出来る設備を有していました。岡山県も当時330社あった織物屋は現在15社程度になっており、ニーズに柔軟に対応出来る企業だけが生き残り続けています。現在日本国内に存在する約97%の衣料品は海外製、残りの約3%が国産となっていますが、質の高い物を作り続けなければ生き残れない、厳しい状態となっています。

御社の強みとは

弊社はシャトル織機を使いデニム生地を織っています。シャトル織機とは、よこ糸を内蔵したシャトルを使い、糸を左右交互に打ち込んで製織するものです。織るスピードの限界があるため、シャトルを使わない高速織機が業界の主流となっていますが、シャトル織機で時間をかけて織る事により、生地をふっくらとさせて暖かみを持たせ、独自の風合いを出せます。また、高速織機では出来ない、セルビッチと呼ばれる耳付きのデニムを作る事が可能で、そのように高付加価値のある商品を提供出来る事が弊社の強みです。

以前、お得意先様であるラルフローレン様からの受注が一時的に減少した事がありました。ラルフローレン様の扱っているセルビッチデニム生地は数種類を弊社が作っておりますが、取り扱う商品は母国のアメリカ産にするという米政府の動きから、一部のデニム受注が止まったためです。しかし、半年後に慌てて「作り直しをしたい」と先方から連絡がありました。日本綿布のように古くからある貴重なシャトル織機を多く携えている企業は類が無く、職人の技術も必要ですので、弊社と同品質の商品を大量に生産する事が難しいのです。弊社は生産を再開すると同時に、ラルフローレン様の想いを尊重して、材料は全てアメリカ産の綿でデニムを作り上げました。大変喜んで頂けましたよ。

そうした、個を大切にするといった心掛けも、弊社の大きな強みの一つです。自社一貫生産を活かして、ラルフローレン様用、クロムハーツ様用と、お客様へ納品するデニムは全てそれ専用の糸で織り上げていますので、別のお客様に同じ商品は提供していません。その心掛けが、高い信頼の獲得に繋がっています。

目標や今後の展望を教えてください

現在、事務所社屋の隣に新工場を建設中です。既存の工場には150台ものシャトル織機がありますが、更に50台を新調して生産量を増やします。また、新しい織機の導入により、従来は実現できなかったデニム生地や、常にお客様のニーズに多様に応えられる生地を作れるようになりますので、今までよりも更にお客様からニーズを徹底

的に引き出し、常に新しい物作りにチャレンジしていきます。日本のデニムの聖地であるこの産地をリードし、更なる海外進出を行い、挑戦し続けていきます。



セルビッチ(左)とラルフローレンデニム(右)



次代を担う若手社員

森山 公恵氏

お客様に気持ちよくデニムを着て頂けるように
初心を忘れず業務に取り組みます

業務内容を教えて下さい

シャトル織機を管理し、デニムを作っています。デニム職人となり今年で11年が経ちます。

心掛けている事は何ですか

織機は自動で動いていますが、糸が足りなくなれば人の手で補充しなければなりません。織機は複数あるので、織機が停止しないように全体を見ながら糸を補充するなどのメンテナンス業務に取り組んでいます。織機が停止した際、途中から織機による製織を再開しますが、処理の再開が確でなければ、開始位置のずれによりデニム生地が線が出来てしまう事や解れが起ってしまうなどのトラブルとなるため、処理が停止しないように気配りを怠りません。

デニムは身の回りの衣服でよく見られるため、自然と消費者の立場に立って、デニムを織るようになりました。プライベートで解れのある服等を見ると、職人の苦労と努力が分かるとともに、良い商品を作るよう努力しなければと思います。お客様の手に届いた服を気持ちよく着て頂けるように、丁寧にデニムを織る事を常に心掛けています。

やりがいは何ですか

織機が停止した場合には対応が必要となりますが、停止した事がわからないように対処して、綺麗に処理が出来る事に一番やりがいを感じます。細かい作業のため、慣れるまでに数年かかりましたが、油断してしまうと失敗を繰り返すので、慎重に対処する必要があります。トラブルをくり抜けて綺麗に出来た生地を見ると、良かったという想いでいっぱいになります。



また、工場内の職人は、今年入社した若手から、上は70歳前後と幅広い年齢層ですが、先輩方は親しみやすく話しかけやすいため、コミュニケーションが大変充実しています。そのため、困ったとき分からなかった時の対処法を確認する際に苦労することなく誰にでも聞く事が出来ます。

今後の目標を教えてください

技術職人として、もっと綺麗に生地を織り、お客様に気持ちよく使って頂けるように腕を磨いていきたいです。また、精密な対応が必要となりますので、常に初心を忘れずに、業務に取り組んでいきたいと思っています。

企業プロフィール



企業名：日本綿布株式会社
設 立：大正9年3月28日
住 所：〒715-0003
岡山県井原市東江原町1076番地
T E L：0866-63-0111
所属組合：備中織物構造改善工業組合



合同企業見学会『バスツアー』開催

岡山県中央会では、岡山県内外の学生を対象に合同企業見学会「バスツアー」を開催しております。

この事業は、現役の学生に対し、魅力のある地元企業情報を現地で実感してもらい、同時並行で行われている大学生インターンシップ事業と共に、学生の就職活動に向けた第一歩を支援しております。地元企業や各業界の認知度アップはもちろん、学校関係者と企業との情報交流の場としても効果が考えられます。

今年度は、第1弾として8月下旬から9月上旬に掛けて、金融業、機械製造業、通信業、印刷関連業、食品製造業、小売・卸・サービス関連業、運輸関連業など岡山県内の事業所を巡る13コースを設定しました。

ご協力いただいた企業の方からは、「目指している業界以外にも、他の業界へ実際に行ってみる事で様々な企業を知り、自分の見識を広げる場として活用してもらいたい」(金融業)、「自社を知ってもらおう大変良い機会となるため、今後も継続して参画したいと考えている。学生には、就職活動を行う上で本当に行

きたいと思う企業へ就職出来るように意志を持って取り組んで欲しい」(小売業)等のコメントがあり、参加された学生からも「地元で就職を考えているため、岡山の企業を知る事が出来て良かった」(大学3年生女性)、「就職活動に関しての取り組みのきっかけとなった」(専門学校1年生女性)等のコメントが寄せられました。

ツアー中の質疑応答では「新入社員に期待することは何か」、「仕事でのやりがいとは」、「業務での良かった事、困った事は何か」といった業務内容から就職活動に関する質問が投げかけられ、各従業員の皆様もそれぞれの質問に熱く答えられていました。

岡山県中央会では、組合等の業界PRなども含め、業種や業界、規模を問わず第2弾のバスツアーを企画中ですの

で、業界PRをお考えの組合・企業の方は、当会労働支援室までお気軽にご相談下さい。

■問い合わせ先

岡山県中央会 労働支援室
TEL (086) 224・2245

(組織支援課 吉尾)



第19回岡山県中小企業団体親睦ボウリング大会開催

平成28年7月29日(金)、岡山市内のボウリング場で第19回岡山県中小企業団体親睦ボウリング大会(主催：岡山県中央会、協賛：商工中金岡山支店、三井生命岡山支社)が開催されました。

大会には、県内各地の組合関係者114名(29チーム)が参加し、団体、個人の部ごとに上位賞のほか、飛び賞、協賛機関からの盛りだくさんの賞品の提供があり、多くの方が受賞されました。

また今回は、熊本地震チャリティーを兼ねて開催され、参加者の全ストライク数に応じて義援金を中央会が寄付することにして、募金箱とあわせて22,480円を日本赤十字社に寄付いたしました。

優勝者

団体の部

株式会社滝澤鉄工所
(協同組合岡山県鉄工会)

個人の部

藤原 孝氏
(株式会社滝澤鉄工所)

女子の部

清原 萌氏
(ユアサ工機株式会社)

(総務企画課 中西)



個人の部優勝者 藤原 孝氏(左)
女子の部優勝者 清原 萌氏(右)



団体の部優勝者 株式会社滝澤鉄工所の皆様

「第3回 おかやま元気な店 Webコンテスト」参加者募集中!

おかやま元気な店Webコンテストは、県内の小売店の競争力を強化し、経営力の向上を図る事を目的として開催されています。斬新なアイデアや工夫、地域特性を活かした個性豊かな小売店を対象に、人気投票や岡山県で審査を行い、表彰店を決定します。その後、岡山県のホームページやおかやま元気な店Webサイト等により広く情報発信を行い、地域住民の利用や県内外からの多くの誘客を促進すると共に、優良な小売店を表彰することを通じて経営意識の向上を支援します。岡山県では「魅力的な店づくり」、「環境や地域貢献」、「人に優しい取組」、「優良な経営」を行っている小売店を、次の通り募集しております。エントリーするだけでも知名度アップに繋がりますので、ぜひ応募下さい。

■応募の対象店舗

岡山県内の中小小売店

※ただし、コンビニエンスストア、チェーンストア等、全国又は岡山県の区域を越える組織に加盟する小売店等は対象外

■応募方法

(1) 小売店自らの応募

(2) 県内の各商工会議所、各商工会、岡山県中小企業団体中央会からの推薦

※(1)の場合は、最寄りの商工会議所、商工会又は岡山県中小企業団体中央会による推薦書の添付が必要



■募集期間

平成28年7月11日(月)～9月12日(月)

■結果発表

平成29年1月頃

■表彰

応募のあった小売店について、おかやま元気な店Webサイトに掲載して取り組みを紹介して、人気投票を行い、投票結果の上位10店舗程度を対象に審査を実施して、受賞店を決定します。また、受賞店には表彰状及び記念品が贈呈されます。

(1) 大賞 1店以内

(2) 優秀賞 2店以内

(3) その他の賞

■問い合わせ先

岡山県産業労働部経営支援課

「おかやま元気な店Webコンテスト」係

TEL (086) 226-7353

ホームページ <http://www.okachuo.or.jp/genki/>

日本企業振興協同組合

大供教育センター開所

「新たな教育プログラムを導入」

日本企業

振興協同組合は、展開する事業の

1つである

外国人技能

実習生受入

事業の拡大



大供センター外観



挨拶される代表理事尾氏

を目的として大供教育センターを新しく構え、去る8月2日(火)に開所式を行いました。

当組合は、1984年に協同組合岡山ハイウェイセンターという名で津山に設立されました。時代の変化に伴って取り組む事業が増加し、2008年に定款を変更し外国人技能実習生受入事業も開始。2010年に現在の組合名となりました。2013年より岡山市北区南方に事務所を構え実習生の受け入れを行っていましたが、手狭になったために事業拡大を目的として大供教育センターを開所しました。当教育センターは5階建てとなっており、男女16名ずつの最大32名の受け入れが可能です。開所式では代表理事の尾氏氏が組合の沿革を話され、将来は帰国後の

実習生たちを訪ねて共に事業を展開出来れば等といった想いを語られました。

また、センター長の石川氏が施設概要や教育方針について説明されました。実習生を無事に入国させて3ヶ月間のフォローを行うという従来の方針に加え、「日本に来て良かった。また日本に來たい。」と実習生が感じられるように取り組むというビジョンを新しく掲げ、教育プログラムの作成にあたっています。教育プログラムについては、社会人基礎力を身につけてもらう事等を学んでいってもらいたいと考えられています。プログラムを作り上げて終わりではなく、時代に則してブラッシュアップしていきたいと意気込みを語られています。

(組織支援課 吉尾)

湯原温泉トライアスロン実行委員会(湯原町旅館協同組合)

第3回湯原温泉トライアスロン大会開催!

去る7月24日(日)、第3回となる湯原温泉トライアスロン大会が下湯原温泉ひまわり館周辺にて開催されました。降雨無く天候に恵まれた中、国内外から419名が参加し、スイム・バイク・ラン3種目を、この順番で連続して競う33kmのショート部門、88kmのミドル部門とリレー部門に分れて競技が行われました。参加選手は、社湖を泳いだ後、湯原湖畔を自転車にて、湯原温泉街を長距離走にて疾走し、地元住民からの声援を受けながら、ゴールを目指しました。会場では地元グルメテントも並び、参加選手や応援の方へのおもてなが行われて、大変喜ばれていました。



本番に備えて前泊し、湯原温泉でリフレッシュして、当日に臨む選手も見られました。本大会の影響もあり、多数の旅館が満室となる等、湯原温泉の活性化への影響も見られました。

本大会は湯原地域の活性化を目的に、湯原町旅館協同組合含む、地元関係者達で結成された湯原温泉トライアスロン実行委員会が主導のもと、2014年から開催されています。今年度は定員を超えた選手登録があり、昨年度同様大いに盛り上がりました。来年度開催時には、是非挑戦されてみてはいかがでしょうか。

前日の7月23日(土)に選手受付登録が行われ、競技の説明が行われました。開会式等が行われた湯原ふれあいセンター前では、テントが張られ、自転車のタイヤやウェットスーツ等を販売する店舗が並び、選手で賑わいました。開会式までの間に車でコースの下見を行っている選手もあり、入念な準備のもと

(組織支援課 吉尾)

組合間連携による岡山県産品PRイベント開催!

協同組合ニュートリアルプラン

協同組合ニュートリアルプランは、岡山県の観光PR強化キャンペーン期間中である4月23日(土)、5月21日(土)、6月18日(土)に、岡山県内地酒と県内食材を合わせたPRイベントを、岡山市北区の池田促成青果ラボにて開催しました。本イベントには、岡山県中央会の補助事業である組合特定問題支援事業が活用されています。



当組合は、岡山県の優れた食材や工業民芸品等の地域資源の販路開拓、それらを取り扱う中小企業のトータルサポートを目的として、フードコーディネーターやデザイナー、臨床心理士、税理士等が連携し、顧客が抱える課題解決を図るべく平成24年6月に設立しました。マーケティングサービスの共同受注や、情報提供等の事業を行っています。

参加して大いに賑わいました。

3日間で合計約300名の来場者があり、各参加事業者の商材PRや取り扱い拡大に繋がりました。また当組合についても、その取り組み内容やイベント内容が参加者や来場者より好評を得て、当組合へのイベント企画依頼に繋がるなどの成果が見られました。岡山県の地域資源開発・販売活性化が今後も期待されます。

(組織支援課 吉尾)

参加企業

本イベントでは岡山県伝統産業振興協同組合との組合間連携を行い、西川沿いの通りに面したオープンバルにおいて岡山県内食材をはじめとしたPRを行い、広く県内業者や一般消費者が

板野酒造本店、菊池酒造、白菊酒造、鷹取醤油、辻本店、真庭TACCO'S、宮下酒造(8社、50音順)

表町商店街と商店街等中心市街地商業活性化研究会との懇談会を初開催

商店街等中心市街地商業活性化研究会(以下、活性化研究会)は、去る5月18日から6月9日にかけて、表町の8つの商店街の代表らと、表町商店街が今後どのような活動をしていくべきかを課題として懇談会を延べ8回開催し、8月10日懇談会の取り纏めを行いました。

活性化研究会は、岡山市、岡山商工会

議所、日本政

策金融公庫並

びに岡山県中

央会の4団体

を構成機関と

して、本年2

月、「空き店舗

対策」や「魅

力ある個店と

商店街づく

り」をテーマ

にワーキング

形式で研究を

行うことを目

的に設立され

ました。

各商店街と

懇談を行う中

で次のような

点が話題とな

りました。

イオンモール岡山の影響と

空き店舗への対応

イオンモール岡山がオープンし、表町の来街者はいとうと、若者の多くがイオンに流れた結果、以前よりも商店街内は高齢者客の割合が増え、空き店舗も増加しました。



新規出店者と空き店舗のマッチングについては、「家賃のミスマッチ」に加え、「空き店舗の二階に家主が住んでいる」というケースもあり、貸し出し意思がない、「排気や排水の問題で飲食店の出店が困難」など多くの問題を抱えていることが浮き彫りとなりました。

川崎病院の開院や新市民会館との連携による外部環境の変化

これまで以上に商店街に近接した立地に今年12月川崎病院が移転開院されます。多くの患者さん家族、病院で勤務される方など来街者アップが期待されます。利用者の駐車場の相互連携など事前準備も進んでおり、売上アップに向けた仕掛け作りが急がれます。

また、千日前に新市民会館移転が決定し、商店街も千載一遇のチャンスと期待が高まります。今後、具体的な計画に商店街側も積極的に関わっていききたいと話されていました。

総括 魅力ある商店街は魅力ある

個店づくりから

表町商店街では、まちゼミにも力を入れており、各個店のファンづくりを目指して活動しています。現在、5回目となるまちゼミも開催(10月16日まで)されており、個店の魅力を発信し続けています。全国レベルで波及しているまちゼミによる活性化も期待されます。岡山県中央会といたしまして、9月16日に中国地方まちゼミ事例発表会を岡山で初開催するなど、表町はもとより魅力ある商店街づくりに向けたアプローチを続けていきたいと考えています。

(組織支援課 長木)

夏を彩る岡山駅前周辺 同時イベントを4団体で開催

去る7月23日(土)に岡山駅前商店街振興組合主催で土曜夜市を主体としたイベント「SATURDAY NIGHT CARNIVAL」が開催されました。このイベントは奉還町商店街振興組合、岡山青果食品商業協同組合青年部、満月堂実行委員会の連携・協力のもと、岡山駅周辺の3つのエリアで同時に開催し非常に多くの方が訪れました。

岡山駅前エリア

岡山駅前商店街では、氷をその場で削って作品を作り上げるショーや、ビンゴ大会など、お年寄りからお子様まで年齢に関係なく楽しめるイベントが実施されました。数多くの出店も非常に盛況で、賑わいをみせていました。

奉還町エリア

奉還町商店街では岡山歌姫Chinさんの、岡山駅前商店街では松中啓憲さん、花子Boysさんのライブパフォーマンスが行われました。商店街での楽しいイベントに色を添える素敵な音色が響き渡っていました。

西川・岡山駅前エリア

西川緑道公園では毎月満月の最寄りの土曜日に実施されている満月BAY、岡山駅前広場では桃をはじめとする岡山特産の果物をふんだんに使ったフルーツフェスティバルが開催されまし



賑わう奉還町エリアの様子

た。両会場は岡山の美味しい食べ物を楽しむ人々で溢れました。

今後も、駅前商店街振興組合は他の団体と連携して活動していく方針を示しています。商店街の強みである地域コミュニティの結びつきを存分に発揮し、岡山市の中心部の活性化が期待されます。

このシーズンは岡山市に限らず、倉敷市、津山市、笠岡市などの商店街でもイベントが行われています。参加されなかった方々も、秋に各商店街でイベントを企画していますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

(組織支援課 長木)

「真庭地域の廃棄物を活用し、バイオマス都市化の一助となる」

真庭広域廃棄物 リサイクル事業協同組合

平成26年4月に設立された当組合は、真庭地域の循環型社会構築に向けた取組の一環として、生ゴミやし尿等から液体肥料(以下、液肥)とメタンガスを作るメタン発酵モデルプラントを建設し、平成27年7月より稼働を始めました。真庭地域では将来的にメタン発酵による大規模プラント建設の構想があり、一般廃棄物処理に関わってきた当組合としては、モデル事業を通じてメタン発酵技術のノウハウを学び、循環型社会構築の一翼を担えるように活動をしています。

当プラントの建設は、真庭地域の焼却物処理場の老朽化が背景にあります。市町村合併の影響により3ヶ所の廃棄物処理場と1ヶ所のし尿処理場が点在しており、維持や焼却のコストが懸念されていました。また、真庭地域で処理されている焼却物の中で生ゴミは40〜50%を占めています。当組合はそのような真庭地域の現状や市域の方の要望もあり、モデルプラントの建設に至りました。現在はモデルプラントですが、真庭地域が構想している本プラントが完成に至れば生ゴミやし尿等を一括処理する事で、真庭地域全体の焼却物処理にかかるコストを約5億円程度削減出来る事が想定されています。



組合が所有している液肥散布車



メタン発酵プラントシステム(発酵槽)

す。また、コスト削減だけでなく生ゴミやし尿等から作られた消化液肥を肥料として農地に還元することにより、市域で特色のある一次産業の活性化も図れると考えられています。

当組合は、液肥やメタンガスを作る嫌気性生物処理の知識はゼロベースからのスタートで、当初、他県で同様に稼働中の施設から微生物を買って実験を行い、失敗と改善を重ねてきました。施設のきめ細かい運転管理を毎日行った結果、現在は安定して稼働しています。当プラントで作られたメタンガスは電力のタービ

ンを回して電力発電を行う事ができ、施設の電力に使われると共に発電時の熱で温水を作っています。作られた温水は、発酵槽内の微生物が活性する為の保温熱源や、組合施設内にあるハウスの冷暖房等で利用されています。

作られた液肥は、主に水稻で利用されています。堆肥よりも散布がしやすく、化学肥料と比べると大幅なコスト低下が見込める液肥で育った作物は甘みがあり、当組合員のグループ企業が作った野菜が、日本野菜ソムリエ協会のソムリエアワードで受賞する等といった成績を収

め、真庭地域の活性化に大きく貢献しています。現在、真庭地域の農地へ当組合の液肥散布車を利用し、液肥を活用して地域の農作物へ還元していますが、散布媒体を小型化し、より地域に根付かせて行くことが今後の課題でもあります。当プラントの見学には、行政や学校の方々を始め、婦人部や地域の方まで幅広く足を運んでおり、従来のバイオマスを覆し、家庭から出る生ゴミでもバイオマスとなる考えが、地域の方々を中心に少しずつ広まっています。

「市の大規模プラント稼働に向けて、当組合も関わっていくために、前向きにノウハウを積んで行きたい」と理事長の牧氏は意気込みを語られています。当組合の活躍にご期待下さい。

組合データ

真庭広域廃棄物リサイクル事業協同組合
理事長：牧 生夫氏

住所：〒719-3115

岡山県真庭市中429-1

TEL: 0867-45-7773

(組織支援課 吉尾)

がんばるものづくり企業 有限会社備南農産

おかやま和牛のブランド力向上や地域資源活用を目指して

岡山市南区にある有限会社備南農産は、施設野菜生産の備南千両茄子や米等の生産販売を行っています。また、和牛用飼料となる稲わらの生産を行っており、岡山県の地域資源である「おかやま和牛」のブランディング化に寄与しています。昨年、低水分サイレージと呼ばれる飼料を開発するために、平成26年度補正のものづくり補助金を活用して和牛用飼料販売開発事業の拡大を図りました。その背景や導入後について、代表取締役社長の梶原氏にお話を伺いました。

・・・

当初、弊社で生産している米の稲わらを土の中に漉き込む園芸用として扱っていました。知人から、稲わらをまとめて固める機械を購入したことがきっかけで、まとめた稲わらの一部を畜産業者に売り渡すと利益となり、飼料としての稲わらの需要が高いことを知りました。検討を重ね、稲わらをロール状にして回収するようになりました。

稲わらをロール状にする際には、乾燥していることが必須条件でした。降雨後や水田から水を抜いた直後の乾燥不足状態でロール状にすると腐食してしまうため、和牛用飼料として活用することが出来ません。餌として栄養価の無い粗飼料

である稲わら

は、肉牛の反芻機能維持に用いられ、特に国産の稲わら需要が高いおかやま和牛の育成には必要となります。しかし、上記条件により天候の影響に左右されや



代表取締役社長 梶原氏



自走式ラッピングマシン

すく、毎年回収量が安定しないため和牛用飼料が不足して、和牛の育成も安定しません。弊社は周辺農家からも稲わらを購入し製品化していますが、乾燥していなければ稲わらが回収出来ないため、周辺農家は次の麦の栽培に向けて稲わらを燃やしたり土へ漉き込みます。そのため、事業拡大に取り組み始めるまで、需要の高い稲わらが大量の未利用資源として処分されていました。

そこで弊社は、乾燥不足の稲わらでもロール状にして畜産業者へ渡せるように取り組みを開始しました。今回導入した自走式ロールベアラとラッピングマシンでは、稲わらをロール状にした後、ラップ

するといった課題がありました。一つ一つクリアして現在に至りますが、ノウハウが無い状態からのスタートであったため、時間がかかりました。

今後は、畜産業者から商品に対するフィードバックを受け、事故商品をなくしていく事で歩留まり向上を目指すことや、機械を増やして生産量を向上し、稲わらの買取先や和牛用飼料を増やしていくことが課題です。

・・・

低水分サイレージ加工を開始して1年目。本事業により、農家は稲わらの処理が安定的に行われ、かつ畜産業者の和牛用飼料は安定して入手可能となるため、農家や牧場の大きな助けとなります。岡山の農家やブランド牛を支える企業の1つとして、今後更なる活躍が期待されます。

企業データ

有限会社備南農産
代表取締役社長 梶原 信一氏
所在地：岡山県岡山市南区西七区239
資本金：300万円
業 種：農業
TEL：086・362・2811
FAX：086・362・5654

(組織支援課 吉尾)

情報連絡員レポート

7月分

岡山県業界天気図



	業界の景況	DI	売上高	DI	収益状況	DI
全 体		-31.6		-38.6		-29.8
製 造 業		-32.1		-50.0		-25.0
非製造業		-31.0		-27.6		-34.5

(注)DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況感
(前年同月比)

1
 37
 20

増加・上昇・好転
 変らず
 減少・下落・悪化

製 造 業

業 種

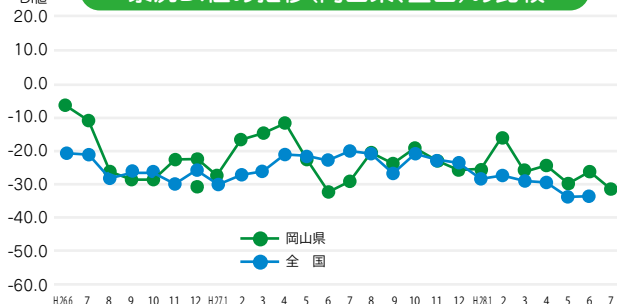
業 種		前年同月比						
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度
	食料品	味噌						
		米菓						
		豆腐						
		醤油						
		酒造						
	繊維工業	繊維業・井原						
		繊維業・県						
		アパレル・県						
		アパレル・津山						
	木材・木製品	製材・県						
		合板						
	印刷	出版・印刷						
		製本						
	化学・ゴム	ゴム						
		プラスチック製品						
	窯業・土石製品	生コンクリート						
		石灰						
		ブロック						
	鉄鋼・金属	鋳物						
		鉄鋼						
	一般機器	機械器具・東岡山						
		鉄工・津山						
		鉄工・岡山						
		工作機械・総社						
		工作機械・井笠						
		工作機械・英田						
	輸送機器	造船関連						
		自動車						
	その他	畳						

非 製 造 業

業 種

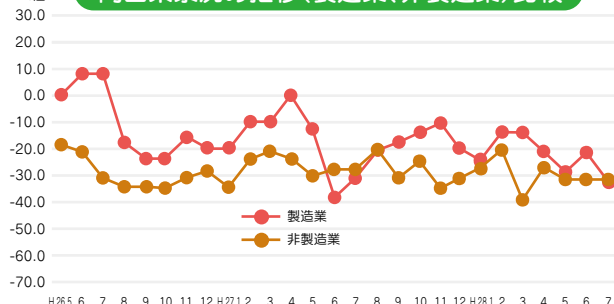
業 種		前年同月比						
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	雇用人員
	卸売業	機械・工具						
		電設資材						
		青果						
		木材						
		雑貨						
	小売業	石油						
		青果食品						
		中古自動車						
		自動二輪						
		家具						
	商店街	商店街・岡山						
		商店街・津山						
		商店街・倉敷						
		自動車整備						
	サービス業	建築設計						
		旅館・ホテル						
		電飾・看板業						
		クリーニング						
		リサイクル						
		住宅リフォーム						
		左官						
	建設業	土木工事						
		管工事						
		防水工事						
		バス						
	運輸業	タクシー						
		トラック						
		倉庫業						
	その他	信用組合						

景況DI値の推移(岡山県、全国)の比較



- 全国の6月の景況は、前月対比+0.2ポイントDI値が僅かに改善し-33.0ポイントとなった。7月に入り家計動向、小売関連、雇用関連、企業動向関連は非製造業が上昇している。内閣府発表の景気ウォッチャーによると、景気は、金融資本市場が落ち着きを取り戻す中、持ち直しの兆しがみられる。先行きについては、引き続き海外経済や金融資本市場の動向等への懸念がある一方、経済対策への期待がみられるとしている。
- 県内の景況DI値は、前月対比-5.3ポイント悪化し-31.6ポイントとなった。非製造業は前月比変動なく-31.0ポイントであった。製造業は前月比-10.7ポイント悪化し-32.1ポイントとなり前年比-1.1ポイントの微減であった。心配された三菱自動車工業の生産も再開され落ち着いた。先行きについては、円高が懸念され、引き続き海外経済の動向が円高・株安等にもたらす影響に注視が必要とみられる。

岡山県景況の推移(製造業、非製造業)比較



- 製造業の景況は、前月比-10.7悪化し-32.1ポイントとなった。DI値内容を見ると、資金繰り、取引条件、雇用人員は好転したが、売上高が前月比-28.6の-50.0ポイント、在庫数量-21.4の-10.7ポイント、設備操業度が-10.7の-21.4ポイント、販売価格は-3.5の-7.1ポイントと悪化した。製造業の景況は企業間のばらつきはあるものの、依然として厳しい状況と感じられる。
- 非製造業の景況は、前月と同数値-31.0ポイントであった。DI値内容は、在庫数量が+23.1の-7.7、売上高が+13.8の-27.6、雇用人員が+6.9の0.0ポイントと好転した。取引条件・資金繰り共に-3.4の-10.3、収益状況は-3.5の-34.5ポイントと悪化した。消費税引き上げ延期に期待を寄せる声もあるが、注文の先延ばしもあり不透明である。7月末～8月は中国高校総体や各種イベント等の開催効果が期待される。

製造業

繊維・同製品

- 現在のところ、昨年に比べ大きな変化はないが、今後円高などの影響が出てくると思われる。《繊維業・井原》

木材・木製品

- 梅雨明けに伴い出材量は徐々に回復しているが、メーカーの在庫が少ないことから、原木はスギ・ヒノキとも安定した引き合いがある。なお、小径木は引き続きバイオマス発電等の燃料用の引き合いが高い。製材品は、住宅着工は堅調に推移しているが、消費税引き上げ延期、円高の進行で外材との競合材に先安感が強まるなど、先行き不透明感が強い。《製材・県》
- 木材加工製品販売は公共事業を中心に減少傾向であるが、7月中旬より一般部材の発注が増加した。木材製品売上前年対比70%。仕入れ原木価格は素材価格低迷から出材減少傾向であり、原木不足から少し値上げ傾向である。径木仕入れ価格(和10)～14cm/3m) 8,000～8,500円/m³、柱口(和16～18cm/3m)20,000～23,000円/m³ 《合板》

印刷

- 売上の状況についてはばらつきがあるが、総じて前年割れの企業が多い。小売業等のチラシ関係が落ち込んでいる。《出版・印刷》

化学・ゴム

- 三菱自動車工業のek生産が再開され7月下旬からオーダーが入るようになったが、円高基調や消費税引き上げ延期もあり自動車業界全体が足踏み状態で、今後の回復を期待している。今年の計画も下方修正をせざるを得なかった。《ゴム》

窯業・土石製品

- 売上高の前年比約2割減。他は不変。今後も月により売上のばらつきは生じるものと思われるが、業界市場は依然として横ばい傾向にある。《ブロック》

一般機械

- 企業間でばらつきはあるものの、全体的には落ち込み傾向がみられる。《鉄工・岡山》
- 組合員間の多少のばらつきはあるものの、対前年・同月ともに大きな変化は見られず。《工作機械・総社》
- 受注量は安定的に確保出来ており、売上増加傾向である。《工作機械・井笠》
- 各組合とも業況は悪化している。個別企業では、メインのフロア事業低調、福祉用機器は増産見込み。《工作機械・英田》
- 雇用人員のうち、従業員については「不変」だが、派遣職員などの外部人材については「減少」と答える企業が多くある。《自動車》

その他製造業

- 平年並み。暑さで多少低調だが盆前需要は多少あるようだ。《量》

非製造業

卸売業

- 先行き不安材料が多い中、消費税引き上げ延期が少しでもよい方向に働いてくればよいが。《機械・工具》
- 特に目立ったことがなく平年並であった。《青果》
- 消費税引き上げ延期を発表以来、大型商品の注文が一気に先延ばしされた。《雑貨》

小売業

- ホンダの新車販売不振が大きい。原付スクーターの販売不振あり。《自動車》
- 7月度については年に一度の組合主催のイベントがあり、その売り上げが多少含まれているが、売上高・販売価格が増加しているが、全体的には業界自体がよくないのは変わっていない現状である。《家具》

商店街

- 猛暑天候不順も影響し商店街の集客力低下。空き店舗の増加がかなり激しい。《商店街・岡山》
- 後半2週にわたって週末恒例イベント「地ビールフェスタ」を開催。毎年このときだけ商店街に訪れるという声も聞かれた。成功裡に終了したが、通年いつでも訪れたい商店街になるためには課題も多い。《商店街・津山》
- 暑さの為方々人通りがなくなる。《商店街・倉敷》

サービス業

- 各機関よりの発注はあるが、組合に対する物件(大型)が少なく、受注が大変困難な状況である。《建築設計》
- 寝具類のクリーニングが繁忙期より遅れて出た為、売上高は前年に比べ多少増えた。《クリーニング》
- 鉄・非鉄では、国内スクラップ価格は、7月は小幅な値動きで前年比1,000円(TON当たり)の値下げとなった。世界で最大のスクラップ輸入国であるトルコもクーデター未遂事件で動きは低調。夏枯れでスクラップ発生量も少ない状況で、海外からの需要次第では価格上昇の可能性もある。古紙では、電子媒体等の普及により紙の使用量が減少傾向にあり、古紙の発生量も少ないことから、新聞紙・雑誌・段ボールともやや値上がりした。《リサイクル》

運輸業

- 集客状況は前年比88%と低調に推移したものの、ツアー単価は126%と大幅増となった。宿泊及び日帰りのお買い得感のある企画商品は好調。一方、通常プラン商品や夏休みのファミリー向け企画商品は今一つで、低調に推移した。《バス》
- 気温上昇とともに飲料関係の動きが加速。7月下旬から岡山をメイン会場とした中国高校総体が行われることもあり、車両関係の案件も出てきてはいるが相変わらず全体的に荷動きは回復基調にはない。ここにきて輸送料金の適正化を要求する声も高まってきており、労働者不足も手伝って物流コスト増の傾向は強くなっていくものと感じている。《倉庫業》

その他

- 地場の中小企業者の業況・動向等に大きな変化はないものと思われる。三菱自動車工業㈱の関連についても生産が再開され落ち着いた。我々の地域においては、影響は限定的なものとなっている。《信用組合》

情報連絡員に聞く

岡山県オートバイ事業協同組合
副理事長 森石知治氏

岡山県オートバイ事業協同組合は、岡山県内の二輪販売店及び二輪関連事業者の協調・連携により豊かで健全な二輪自動車社会の構築を目的として、平成19年2月に岡山県オートバイ協議会として発足し、平成24年4月に岡山県オートバイ事業協同組合として法人化されました。オートバイ業界の現状や課題について、副理事長の森石知治氏に伺いました。

■業界の現状について教えてください

近年、長く続いてきた「三ない運動」が終わりを迎えています。三ない運動とは、「免許を取らせない」「買わせない」「運転させない」というスローガンを掲げた日本の社会運動です。30年近く続いていたこの運動は、若者をオートバイから遠ざけてきました。また、スマートフォン等を始めとした、高価で新しいものが身の回りに溢れています。安価なオートバイが、それら新しいもので取って代わられる等の影響もあり、オートバイに興味を示してくれる若者が少ないのが現状です。

三ない運動が始まる前の、現在60代前後の消費者によりこの業界は支えられていましたが、必然的にユーザーの高齢化が進んでおり、併せて年齢問わずオートバイ人口の減少が目立ってきました。買

い物やちょっとした用事で手軽に乗れる安価な原動機付自転車(50cc以下)や小型自動二輪(125cc以下)は、音量規制や安全装置義務化等により少しずつ高価になってきています。地方では購入者も少なく、オートバイを扱う店は閉業が進んでいる現状です。都会では二輪車の駐車場化、駐車禁止問題が進んでいるため、更にオートバイ離れが加速しています。

オートバイ自体が高価・高機能となるにつれて、整備も難化しています。以前は1つの店舗で様々なメーカーと契約し、オートバイを販売出来ていました。しかし、トラブルに対応するため詳細な対応が出来る代理店が少なくなってきました。そのため、オートバイの代理店は自動車代理店同様1つのメーカーのみを扱い、より専門店化しています。

■現在力を入れている取り組みとは

業界としては、小型限定普通二輪免許取得時の負担軽減や、高速道路での二輪車の料金区分独立化の動きがあります。原動機付自転車は、普通自動車免許を取得していれば乗車可能と手軽である一方で、制限速度が30km/h以下のため長距離の移動手段としてはなかなか推奨されません。ある程度排気量のあるオートバイで手軽さがある小型自動二輪に乗るに



みは常にされ続けています。組合としては、組合員とつながりのあるお客様を対象にツーリングを行っています。先日は第二回ツーリングイベントが開催され約300名が集結し、大盛況となりました。今後は他県と連携・広域化して、オートバイ業界の活性化に取り組んでいきます。

■課題を教えてください

30年もの間、三ない運動が取り組まれていました。交通安全教育は学校では注力されてこなかったため、現在では自転車のマナー問題も注目されてきています。「危険なので乗らせない」と、最初から排除するのではなく、安全や教育のために免許取得を推進し、若者に交通安全教育をしていく必要があります。16歳からオートバイの免許は取得出来ますが、高校生はバイクに乗れないという意識が根付いています。そうした根本的な考え方が改まるよう、学校では勉強以外にも、大人になってもっと身近となる交通安全教育を行っていくことが、課題だと考えています。

組合としても会員数を増やして、全国オートバイ協同組合連合会の下支えとなるよう、業界を発展させていければと思っています。(組織支援課 吉尾)

就実大学
経営学部
課外講義

岡山の地域の中小企業のブランド化のために

第1回

「ブランド」の価値とは



就実大学副学長
兼経営学部部長

杉山 慎策 氏

【プロフィール】

岡山県出身。岡山大学法文学部経済学科卒業、奨学生として米国留学。資生堂UK社長、ユニリーバ理事にてマーケティングを担当、マテルジャパン社長を経て、日本ロレアル(株)副社長として事業開発と人事を担当。東京海洋大学で客員教授として流通・マーケティング論を担当。立命館大学大学院経営管理研究科教授。岡山大学キャリア開発センター教授。2013年4月より就実大学人文科学部教授。2014年4月より新設した就実大学経営学部学部長、2015年4月より就実大学・短期大学副学長を兼務し現在に至る。

7月28日に岡山県中央会と就実大学の間で結ばれた連携包括協定の一環として、中央会おやかやま9月号から就実大学経営学部の教授・准教授の方々に経営学についてのコラムを掲載して頂きます。

品として認められ「調」として納付されていた。

ブランドは選定基準

ブランドの意味

「ブランド」とはそもそもどのような意味なのだろうか。まず、「ブランド」に似たような言葉を日本で探してみたい。古来より日本には「名産」とか「特産」という言葉がある。「名産」は文字通り「有名な産物」という意味で、「吉備団子」は正に岡山の名産である。「特産」とは「ある特定の地域で作られる産物」という意味で「白桃」や「マスカット」「ピオーネ」などは岡山の「特産」である。奈良時代には「租庸調」という租税制度があった。「租」は米などの作物の収穫に課せられた税であり、「庸」は公共事業などのために労役を提供する税である。「調」は地方の特産品を税として納付することを意味する。岡山では海水から塩を採取する藻塩が特産

品と差異化をすることが原点であり、商標制度により類似品から守られている。前述の「特産」や「名産」が「ブランド」に近いと言える。「ブランド」が持つ醸される背景には商品が市場において厳しい競争に晒されている市場環境がある。モノが不足している社会では「ブランド」も「名産」も「特産」も不要である。何故ならモノを作り市場に供給すればすぐに消費されるからである。「ブランド」の必要性を考える時、この競争環境が重要となる。同じカテゴリーで厳しい競争条件に晒されている場合、多くの商品の中から消費者に選ばれなければならない。カテゴリーで1位のシェアがあるということはそれだけ選ばれる確率が高いという意味であり、選ばれることで売り上げは拡大する。売り上げが拡大し規模の経済が働けば原価も下がりそれだけ利益率も高ま

ブランドの棲家

ることになる。利益率が高まれば販売費や研究開発費に投入できる資金も増え持続的競争優位を生み出すことになる。

「ブランド」にはもう一つ別の側面がある。それは「ブランド」は消費者の意識の中にあるということである。筆者は常日頃「ブランドの棲家は人の頭である」と主張している。技術的に良いモノができたからと言って「ブランド」になるとは限らない。一昔前のビデオのベーターとVHSの戦いを思い出して欲しい。技術上の優位差だけで勝ち残り「ブランド」になるわけではない。「ブランド」が消費者の意識の中に存在することにより別の重要な「ブランド」の特徴が生まれて来る。一旦、消費者の間で「優れたブランド」として認知されるとそのポジショニングが変わるためには相当の時間がかかる。スウェーデンが誇るボルボは事故にあって壊れないという安全神話がある。トヨタなど日本車は寧ろ意図的に車体の一部を壊すことにより人への衝撃を吸収する

設計になっている。しかし、今日でもボルボII安全という図式は消費者の意識の中に脈々と生きている。

ブランドは売れ続ける仕組みづくり

「ブランド」の重要性は正にここにある。一旦信頼を得て消費者の意識の中に入り込むと強いポジショニングを獲得する。「ブランド」は永遠に売れ続ける仕組みづくりである」と言われる所以である。ルイ・ヴィトンには靴の代名詞である。1854年創業の老舗ブランドは、使用されるシーンが馬車、船、車、鉄道、飛行機などの大きな技術革新の荒波を乗り越えて世界的ブランドとなった。重いかファスナーが固いとかいろいろ欠点はあるが消費者がこのブランドに寄せる信頼は大きい。タイタニック号沈没という悲劇の中で防水加工をしたルイ・ヴィトンの靴にすぎること生き延びたという神話もある。このようなストーリーが「ブランド価値」を大きく押し上げている。「ブランドの真の価値」は正にこの点にある。

掲示板

■新規創業者向け

ゼロイチマーケティングセミナー

日時 平成28年9月10日(土) 13時30分～17時
場所 ピュアリティまきび

■中国地方まちゼミ事例発表会

日時 平成28年9月16日(金) 13時30分～19時
場所 ピュアリティまきび
日時 平成28年9月17日(土) 9時45分～12時
場所 岡山市北区表町3丁目6-32
木下ラジオ横サカスドーム時計台前

■第68回中小企業団体全国大会

日時 平成28年10月19日(水) 13時～16時
場所 いしかわ総合スポーツセンター
(石川県金沢市)

共済業務委託制度活用のおすすめ

組合・自己財源確保のため

当会が実施している「共済制度」の普及・促進等のご協力をいただける組合様を募集しています。又、業務委託契約を結び、組合・組合員の役職員の方がご成約いただければ紹介料をお支払いします。当会HPをご覧ください。問い合わせは総務企画課まで。

企業の人事担当者の皆様へ 当センターでは

人材の確保・従業員の再就職を支援しています。

お気軽にご相談ください

ご利用時間／9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)



公益財団法人 産業雇用安定センター 岡山事務所

〒700-0826 岡山市北区磨屋町10-20(磨屋町ビル4階)
Tel.086-233-3081 Fax.086-233-1227
E-mail okayama-j2@sangyokoyo.or.jp URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

産業雇用

検索



あなたの会社の福利厚生をバックアップ

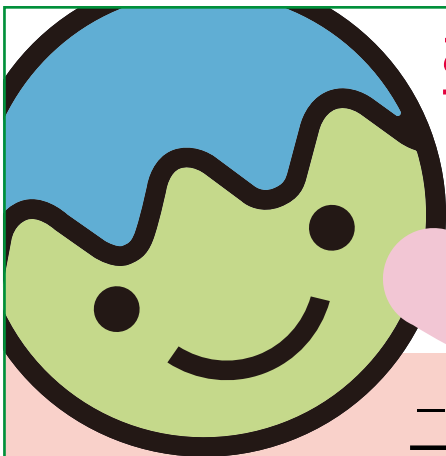
ときめきプラザ

給付金／助成金／提携施設／イベント補助など
社員の福利厚生の制度導入、充実に!!

一般財団法人 岡山市勤労者サポートプラザ

〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 岡山市勤労者福祉センター 1F
☎086-223-6364 Fax.086-223-6384
<http://www.tokimekiplaza.jp> info@tokimekiplaza.jp

会費 500円/月



岡山労働局からのお知らせ

キャリアアップ助成金が改正されました(平成28年8月5日～)

改正の趣旨 10月に施行される「最低賃金の引上げ」及び「社会保険の適用拡大」を見据え、非正規雇用労働者のキャリアアップに取り組む事業主の方への支援を強化します。

①キャリアアップ計画書の提出期限の緩和(人材育成コースを除く)

「コース実施日の前日から起算して1か月前まで」を「実施日まで」に変更しました。

②処遇改善コース【賃金テーブル改定】に係る要件緩和

イ。「改定前の賃金規定等を3か月以上運用していること」が要件でしたが、新たに賃金規定等を作成した場合でも、その内容が過去3か月の賃金の実態からみて2%以上増額していることが確認できれば支給対象となります。

ロ. 最低賃金との関係

「最低賃金額の公示日以降、賃金規定等の増額分に公示された最低賃金額までの増額分は含めないこと」としていましたが、「最低賃金額の発効日以降、賃金規定等の増額分に発効された最低賃金までの増額分は含めないこと」に変更しました。

※その他の支給要件もありますので、詳しくは最寄りのハローワーク、岡山労働局にお問い合わせください。

中国学園大学 現代生活学部 人間栄養学科 講師 古川愛子の

健康と若さを保つ食生活を目指そう！

料理名 ポテトドック ほそびきのウインナーとチーズをマッシュポテトで包みました。食卓のおかずとして、またおやつとしてぜひ作ってみてください！

●材料(4本分)●

ウインナー……4本
じゃがいも……300g
スライスチーズ・2枚
油……適量

無塩バター……10g
片栗粉……15g
鶏がらだし……2.5g
パプリカまたはパセリ……0.3g

《作り方》

- ① ウインナーを下ゆでしておく。
- ② じゃがいもは一口大に切り、電子レンジで600W5～8分ほど加熱しマッシュする。
- ③ マッシュしたじゃがいもにAを加えてよく混ぜ4等分する。
- ④ ③を広げ、チーズとウインナーをのせて包む。
- ⑤ 油をひいたフライパンで揚げ焼きにする。

私たちが考えました！



人間栄養学科 3年生

(左から) 風川怜那、岡上愛、新田彩楓、山本早奈恵

栄養価 (一人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質
220kcal	6.6g	14.1g
炭水化物	食塩	
16.6g	0.6g	



今回は、(株)薫製倶楽部よりウインナーを頂いております。肉汁溢れるジューシーな味わいで、当社のベーコンと併せて、贈り物(ギフト)としても大変喜ばれています。

編集後記

今回の岡山県オートバイ事業協同組合の取材を通じて、高速道路の自動二輪一人乗りや速度制限の緩和等、業界をあげた提唱により法改正が行われる事があるという素晴らしい事実を知りました。団結して必要とされている事をしっかりと提唱すれば認めてくれるこの日本は、結構温かい国だと思います。

変化を求めて動き、全て良い方向に変えられるとは限りませんが、最初から諦めずに行動することが大切だと気付かれます。

(吉尾)

ボクはしんぱん士
たじまうん平

経営者・役員・従業員とそのご家族の 安心の保障を準備するために 中央会の共済制度をご活用ください。



従業員のための退職金準備に 特定退職金共済制度

従業員さまの定着が図られ、安定した退職金準備ができる共済制度です。

※ 特定退職金共済制度 引受保険会社
三井生命保険株式会社



経営者・従業員のための万一の保障 団体扱生命保険

団体扱* (月払) の場合、一般扱 (口座振替月払等) でご契約いただくよりも、保険料が割安になります！

オーナーズプラン

経営者の事業承継対策とリスクマネジメントのために。

パートナーズプラン

従業員の皆さまの保障準備をサポートします。



業務上の災害への備えに 業務災害補償保険

事業活動にかかわる従業員さまのケガなどのリスクをカバーする保険です。

※ 業務災害補償保険
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社
取扱代理店 三井生命保険株式会社

* 団体扱とは、岡山県中小企業団体中央会が団体扱としてお申し込みいただいた各保険契約の保険料を取りまとめ、一括して当社へ払い込み取り扱いです。

※ 一部対象とならない商品・契約がございますので、詳細は下記までお問い合わせください。

※ 詳しくは、該当の「商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意事項・重要情報)」「ご契約のしおり・約款」および岡山県中小企業団体中央会の「退職金共済規程(規約・規則)」等を必ずご覧ください。

三井生命保険株式会社は三井住友海上火災保険株式会社の取扱代理店として損害保険代理店委託契約を締結しています。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

三井生命保険株式会社 岡山支社

〒700-8521 岡山県岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル6F TEL:086-232-2011

<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>